



島根大学附属図書館 年報2024

SHIMANE UNIVERSITY LIBRARY Annual Report 2024



図書館長より

人類の知のバトンリレー

図書館長就任にあたって、図書館の役割について考えてみたい。

記録に残っている最古の図書館は、紀元前7世紀のアッシリアの粘土板の図書館だそうである。これを除くと、アレクサンドリアの大図書館が古代最大の図書館として真っ先に思い浮かぶ。我が国においては、北条氏が鎌倉に築いた金沢文庫などが挙げられる。図書館は古来より知の集積された、「世代や場所を超えた人知のバトンリレー」を行うための拠点であった。書物を通して、知識や技術が次世代に受け渡されること、これこそ人類が人類たる所以である。科学の維持発展も畢竟、このバトンリレーにかかっており、図書館はその役割を一身に担って来た。

近年、図書館の資料のデジタルシフトが加速している。例えば国立国会図書館では令和7年度中に100万冊以上の所蔵資料をデジタル化することである。これらは、デジタル情報基盤を成すデータとして検索や機械学習に活かされる。研究に必要な専門の雑誌においても、オープンアクセス雑誌などの電子媒体情報の存在感が急速に高まり、その情報を得るために必要な予算も増加の一途を辿っている。Elsevier、Wiley、Springer Nature等の巨大雑誌社に支払う支出への対応は全国の大学の附属図書館の懸案となっている。島根大学附属図書館のwebサイトの電子リソースのコンテンツを是非利用していただきたいと思う。

このように利用をお勧めしておきながら恐縮だが、私は、電子化された情報に頼りすぎるのは危険だと考えている。もしも巨大な太陽フレアが発生して地球を襲った場合等に、電子情報が失われる恐れはないのか。生成AIが機械学習によって生成したコンテンツが図書館に入り込み人類の知的活動に影響を及ぼすことはないだろうか。古代の文書を見ると、墨色の鮮やかさに驚くとともに、したためた人の筆遣いに、先人の確かな存在を感じる。書棚にならぶとりどりの装丁の背表紙や匂いからインスピレーションを受けることもある。書物にまつわる文化が確かにそこに存在している。それに比べると、現代の我々が後世に渡す電子情報に、無味乾燥な危うさを感じずにはいられない。デジタルシフトは、人類の知的活動全般に於いてどのような影響があるか、図書館は常に見極め対処すべき役目を負っている。

ところで、図書館は、世界中ほとんどの大学で敷地の一等地にある。島根大学でも、図書館を利用しない日はあっても、図書館の建物を目にしない日は

少ないのではないだろうか。附属図書館は、多くの人が行き交う場所にあって、大学が知の拠点であることを象徴しているかのように感じる。

私は学生時代の多くの時間を図書館で過ごした。私が指導を受けた東京大学の田隅三生名誉教授は、非常に緻密で論理的で、ラマン分光学をはじめ分光学の研究に力を注いだ方であった。知的活動を心から愉しみ、“SapiArc”という造語を創った方でもある。私はしばしば、その言葉を巡って生前と一緒に愉快地歓談させていただいた時のことを懐かしく思い出す。Sapiは、ラテン語の「叡智」sapientiaの初めの4文字である。人類を表すホモサピエンス（知恵のある人）のsapiensと同根である。Arcは、「楽園」や「理想郷」を意味するArcadiaである。大学とは、まさに“SapiArc”「知の楽園」であり、図書館はその楽園のど真ん中で先人の知を供給する湧泉であると言えよう。田隅先生の造語を頂戴し、大谷浩学長に、島根大学の次世代人材育成部門を、今年度から「島大SapiArc」と名付けていただいた。

あまねく人生を豊かにするための生涯学習支援、そして次世代人材育成は、本学の大切な役割である。島根大学は島根県唯一の国立大学、つまり地域の知の拠点として、学外の方々に図書館利用を開いている。先の読めないVUCA時代と言われる今、図書館に集積された知を、変化に対応しながら次世代にバトンリレーし、後進育成に力を尽くさなければならない。

以上、図書館の役割の重要性に思いを致すにつけ、皆様のご理解とご協力、そして図書館のご利用をお願いする次第である。

何卒よろしくお願い申し上げます。

島根大学附属図書館長 山本 達之



島根大学構内のC.V.ラマン博士胸像前にて

ラマン博士は、インドのノーベル物理学賞受賞者。私は、ラマン博士が発見した分析手法を応用して研究をしています。ラマン博士に「知的活動を存分に楽しんでいるかい？ここからいつも見ているよ！」と言われていたような気がいたします。

附属図書館の理念と目標

2013（平成25）年8月2日学術情報機構附属図書館運営会議承認

理 念

島根大学は、社会の発展と進歩に貢献するため、豊かな人間性と専門性を身につけた人材の養成を使命とし、創造性ある研究の促進や地域連携を推進しています。（「島根大学憲章」より）

附属図書館は、島根大学における学修、教育、研究を支援するための基盤施設として学術情報の収集、提供に努め、また、地域や国際社会との連携をすすめ、地域に根ざし、社会に貢献できる図書館を目指します。

目 標

1. 学修・教育支援のための資料と環境の整備

学生の学修を支援するため、充実した資料と学修環境を整備し、人格を育む教育を目指して、学内の教育研究プログラムと連携した教育支援を行います。

2. 研究支援のための学術情報整備

多様な分野の特色ある高度な研究を支援するため、国内外の学術情報の収集整備に努め、これらを効率的に利用できる電子図書館機能を充実します。

3. 地域の学術情報拠点としての連携協力

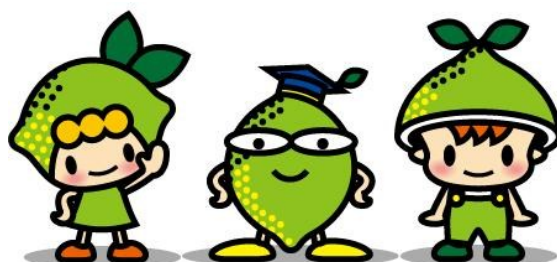
地域の特性と大学の特色を生かした企画、運営をすすめ、地域の学術情報拠点として、資料提供、連携企画、情報発信等を積極的に行います。

4. 学術コミュニケーションへの貢献

大学の研究成果や貴重資料を世界に向けて発信し、学術コミュニケーション活動に貢献します。

CONTENTS

TOPICS	4
統計	
・ 基本統計	11
・ 利用者	12
・ 貸出	13
・ 図書	14
・ 図書館資料費	15
・ 電子リソース	16
・ Webサービス	18
・ 相互協力	19
・ 講習会／その他	20
図書館日誌	22
その他の記録	24



島根大学附属図書館マスコットキャラクター
(左から) みいなちゃん、ライム博士、けんさくくん

TOPICS

■2024年度図書館コンシェルジュ活動

「図書館コンシェルジュ」とは、職員と協働し、附属図書館本館におけるピアサポートを進めるとともに、学生の視点によるサービスの改善などを目的とする学生ボランティアである。

2024年度は、前期は学生を対象とした「図書館謎解きラリー」（p.5参照）や、オープンキャンパスに合わせて高校生及び保護者を対象とした「館内スタンプラリー」（p.6参照）といった、来館者に図書館

内を探索して図書館のことを知ってもらうことを目的とした企画を実施し、多くの方に参加してもらうことができた。

後期は、年末年始に合わせた企画として「図書館福袋」を実施した。「へび」「大阪」「小説いろいろ」といったテーマのもとに図書を選んで複数冊袋に入れて展示する企画で、用意した18袋のうち15袋を利用者に手に取ってもらうことができた。

■SWAN改修で研究成果のオープン化を加速

昨年、当館の機関リポジトリSWANは、国のオープンアクセス（OA）加速化事業補助金を活用し、大規模な改修を実施した。これは、論文や研究データの公開・共有を通じて、研究活動の加速化や新たな知識の創造を目指すオープンサイエンスの取り組みに資するものである。

今回の改修で、SWANは特に以下の2点で大きく進化した。

(1) JPCOARスキーマへの対応：論文の書誌情報などのメタデータ連携用スキーマ（データ記述形式）として、これまではjunii2を採用してきたが、このスキーマは将来的には廃止されることが連携先からアナウンスされていたため、新しい規格であるJPCOARスキーマに対応させた。これにより、CiNiiとの連携を今後も継続することができ、本学の研究成果の発見可能性を高い水準で維持していくことができる。

(2) 研究データ収載機能の追加：論文だけでなく、研究過程で生み出される研究データもSWANに登録できるようになった。近年、ジャーナル側が著者に対し、論文上の図表の根拠となる研究データを公開することを求めることが増えてきているが、研究データの公開場所としてSWANを利用できる。研究成果の透明性が向上することで、再現性のある研究活動を支援することにつながることを期待される。

その他、リポジトリで登録を担当する図書館職員の業務効率が向上する機能も複数追加された。これらの機能強化により、SWANは研究成果をより広範に共有し、学術活動を活性化させるための強力なツールとなった。

■企画展示「命の絆展～被害者も加害者も出さないまちづくり～」を開催

この企画展は、被害者支援に関する啓発を目的とし、命の重みや大切さについて考える機会を提供することを目的に開催したもので、本学での開催は6回目となる。会期中約500名の来場があった。

アンケートでは、「毎年見ている」「遺族の思いが胸に刺さった」「自分が加害者にならないよう気を引き締めたい」などの感想が寄せられた。特に「等身大パネル」「新聞記事」「ウエディングドレス」「手記」などの展示物が印象に残ったという声が多く、遺族のメッセージに心を動かされた来場者も多かった。

展示は、来館者にとって身近な問題として交通事故や犯罪被害を捉え直す契機となり、地域の安全と共生について考える貴重な機会となった。

■開催概要

期間：2024年5月27日（月）～6月20日（木）

会場：本館1階展示室（地域コミュニティラボ）

主催：島根県警察本部、島根被害者サポートセンター、江角由利子氏

共催：島根大学附属図書館



TOPICS

■図書館コンシェルジュ企画「図書館謎解きラリー」を開催

図書館コンシェルジュの自主企画活動として、「図書館謎解きラリー」を開催した。本企画は学生を対象として、謎解きをしながら楽しく図書館の利用方法を確認してもらうことを目的としており、図書館の中を探索したりOPACを操作したりしながら解いていく形式のクイズを出題した。全問解答した参加者には、コンシェルジュの学生が作成した菓を景品としてプレゼントした。

■開催概要

期間：2024年6月11日（火）～7月31日（水）

参加者数：92人

クリア人数：34人



■廃棄予定図書の無償提供

本館において、除籍済みの廃棄予定図書の無償提供会を2回開催した。この会は本学の学生・教職員、一般利用者を対象に、廃棄予定図書の有効活用を図るために行っており、令和6年度は入場者の8割程度が学生となった。また、第2回は提供図書の6割近くが持ち帰られ、好評であった。

■第1回

日時：2024年7月9日（火）～12日（金）

10：00～16：00

会場：本館3階多目的室

来場者数：270名（学生225名、教職員35名、一般利用者10名）

対象資料：図書約4,000冊

雑誌700冊程度（約40誌分）



第1回 廃棄予定図書の無償提供会

■第2回

日時：2025年1月21日（火）～24日（金）

10：00～16：00

会場：本館3階多目的室

来場者数：261名（学生196名、教職員60名、一般利用者5名）

対象資料：図書約4,000冊



第2回 廃棄予定図書の無償提供会

TOPICS

■長期休業期間中の節電対策

光熱水費（特に電気料金）の高騰が、大学運営に大きな影響を与えている状況を踏まえ、昨年度に引き続き、夏季及び春季の長期休業期間中（夏季はフレックスターム含む）に、附属図書館本館において節電対策を実施した。

長期休業期間は授業期間と比べて来館者が大幅に減少するため、奥側の新館（研究ゾーン）の電気設備の稼働を一部停止した。新館閲覧室への立ち入り

は資料の探索・持ち出しのためのみ可とし、閲覧利用は旧館（交流・学習ゾーン）の座席を利用してもらうことで、利用面での影響を最小限に抑えることができた。

■実施期間

2024年8月1日（木）～9月25日（水）

2025年2月3日（月）～3月25日（火）

■オープンキャンパス企画「館内スタンプラリー」等を開催

本館では、2024年8月6日（火）～8月8日（木）に開催された2024年度オープンキャンパスにおいて、図書館コンシェルジュが高校生及び保護者を対象としたオープンキャンパス企画を実施した。

イベント企画「館内スタンプラリー」は、参加者がスタンプラリーをしながら施設を見学できるように、館内6か所にチェックポイントを設置したもので、全てのスタンプを集めた参加者には、景品として図書館コンシェルジュ制作のオリジナル菓子を贈呈した（合計161名の参加者に贈呈）。

また、「島根大学再発見」と題した図書展示企画では、県内外から来た参加者に島根大学について知ってもらうため、授業のテキストや参考文献に指定された書籍や、島根大学に関連する書籍、研究を紹介した書籍を集めて展示したほか、オリジナルブックカバーの配布を実施して、多くの来館者を楽しませた。

図書館コンシェルジュメンバーの尽力により、3日間合計で709名（高校生331名、保護者378名）もの来館者を迎えることができた。

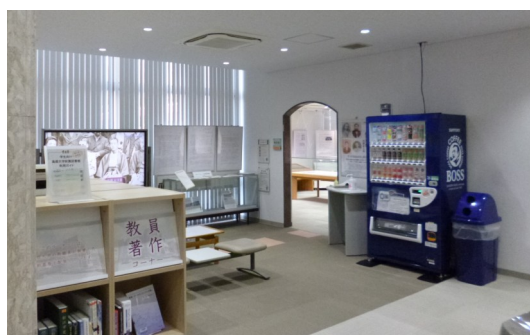


■自動販売機の試行設置

2024年9月に本館1階展示室横に飲料自動販売機を試行設置した。本館では、以前より館内へは密閉容器（水筒、ペットボトル等）に入った飲料の持ち込みを認めていたが、コロナ禍を機に、エリアを限定せず閲覧室等の館内のほぼ全域での水分補給を許可している。

近年の利用傾向から、館内への自動販売機設置は学生のニーズがあることは予想できたが、資料・施設の汚破損や害虫の発生リスクの増加も懸念された。検討の結果、販売する飲料をペットボトル製品に限定することで、密閉容器以外に入った飲料の持ち込みの抑制を図った（缶ジュース等の開封後に再密閉できない容器に入った飲料は持ち込み禁止としている）。また、設置にあわせて展示室入口付近のレイアウトを一部変更することで、展示室への導線を確保しつつ、ゆっくり寛ぐことのできるベンチも設置している。

試行設置の結果、授業・定期試験期間（10-1月）の月平均売上本数は約400本と一定以上のニーズがあることが確認できたため、キャンパス全体での契約更新にあわせ、2025年4月からは本設置に切り替えている。資料・施設の維持管理上の問題が増えると撤去等も検討することになるため、来館者には引き続き、館内での利用マナーの順守にご協力をお願いしたい。



TOPICS

■企画展示「松江市における衛生思想の歴史と今」を開催

本展示は、幕末から明治期にかけて松江で流行した伝染病と、それに立ち向かった先人たちの衛生思想、そして松江市の水道事業の歴史を学んでもらうことを目的に開催した。展示では、田野俊貞、後藤新平、ローレツ、バルトンの4人の功績を中心に、松江の衛生環境整備に尽力した歴史を、図面や写真、建築資料などを通じて紹介した。また会期中には、松江バルトン会によるギャラリートークや講演・講話も複数回開催され、来場者の理解を深める機会となった。

アンケートでは「伝染病を乗り越えようとした人々の努力を知ることができた」「水道のありがたみを再認識した」「飲水思源頭という言葉が心に残った」などの感想が寄せられ、地域の歴史と衛生文化を見つめ直す貴重な機会となった。

■開催概要

期間：2024年10月1日（火）～11月3日（日）

会場：本館1階展示室（地域コミュニティラボ）

主催：松江バルトン会

共催：島根大学附属図書館

後援：日本水循環文化研究協会、臺北自來水事處、松江市上下水道局・文化財課、松江市医師会、島根県建築士会、松江東ロータリークラブ、城西公民館、福島造船鉄工所、今岡ギャラリー、城見エステート

■関連企画

ギャラリートーク

10月1日（火）梶谷光弘 氏（松江バルトン会）

10月20日（日）岡崎秀紀 氏（松江バルトン会）

講演・講話

10月1日（火）岡崎秀紀 氏（松江バルトン会）、杉谷雄二 氏（松江市上下水道局）

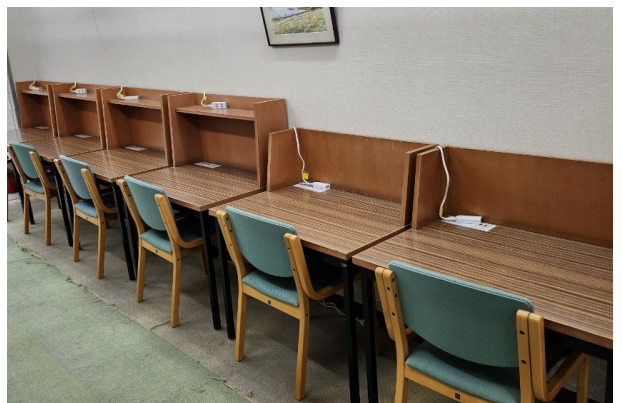
10月18日（金）稲場紀久雄 氏、稲場日出子 氏（いずれも日本水循環文化研究協会）

10月20日（日）岡崎秀紀 氏、足立正智 氏（いずれも松江バルトン会）



■充電用コンセントを増設

本学でのノートパソコン必携化もあり、医学図書館では、以前より充電用コンセントの増設について学生から希望が寄せられていたが、配線が困難な床や机の構造、コンセント口の不足などのため、対応できずにいた。今回、壁際の閲覧席のみ整備することとし、2024年3月に机の配置換えをして壁際の席を整え、8月にフロア中央部にコンセント口の増設工事を行い、9月に延長コードを閲覧席に配線した。これにより2階閲覧室の使用可能な座席114席のうち、41席が充電が可能な席となり、館内において使用する情報端末の充電を目的として提供している。



TOPICS

■「移植医療に関する資料展示～つながるいのち～」を開催

本展示は、臓器移植や骨髄・造血幹細胞移植、角膜移植など、移植医療の現状と課題について紹介するため開催されたもので、PCルーム前の壁面（展示ウォール）を活用して、移植医療に関する正しい知識を分かりやすく伝えるための解説パネルやパンフレットが設置された。

日本では移植を必要とする約16,000人のうち、実際に移植を受けられるのは年間400～500人程度にとどまっており、命をつなぐ医療の現実を知る貴重な機会となった。

■開催概要

期間：2024年10月1日（火）～10月31日（木）

会場：本館 2階PCルーム前

主催：（公財）ヘルスサイエンスセンターしまね
まごころバンク

共催：島根大学附属図書館



■企画展示「しまねで世界と繋がる！～しまね国際センター＆JICAパネル展」を開催

本展示は、11月の島大グローバル月間に合わせて開催したもので、本学におけるグローバル人材の育成・醸成に貢献することを目的に、島根県内における多文化共生の取り組みや、青年海外協力隊として世界で活躍する島根県出身者の活動を紹介した。

パネルや資料に加え、JICAの活動を紹介する動画も上映され、期間中に約330名の来場があった。来場者からは「映像が印象に残った」「JICAの参加方法が分かりやすかった」といった声が寄せられ、来場者が島根と世界とのつながりを身近に感じ、国際協力や多文化共生について考えるきっかけとなった。

■開催概要

期間：2024年11月12日（火）～12月2日（月）

会場：本館1階展示室（地域コミュニティラボ）

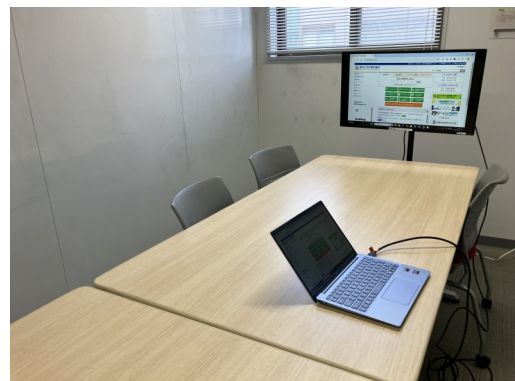
主催：（公財）しまね国際センター、
JICA中国（島根県JICAデスク）

共催：島根大学附属図書館、島根大学国際センター



■グループ学習室に画面共有用モニターを設置

本館では、2階交流ゾーンのグループ学習室に画面共有用のモニターを設置した。グループ学習室（2室、最大定員が8～12名、予約制）は、非常によく使われている館内施設で、壁面がホワイトボードのため情報共有しながらの学習等にも適している。貸出プロジェクターによる画面投影も可能だが、学生のPC必携化やコロナ禍を経て、小型ノートPCを持ち込んで学習する学生の姿が多くなってきたことから、より気軽に画面共有できるように設置したものである。モニターのサイズは部屋の大きさを考慮して31.5型とした。



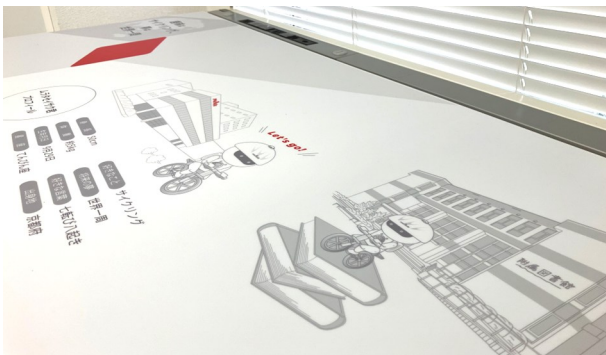
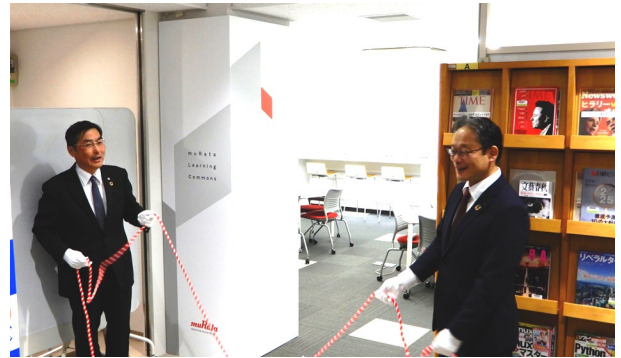
TOPICS

■本館1階ラーニングコモンズの愛称がmuRata Learning Commonsに！

2024年12月、本学のネーミングライツ（命名権）制度の対象施設第1号として、本館1階のラーニングコモンズが選定された。ネーミングライツ・パートナーは株式会社出雲村田製作所（本社：島根県出雲市）で、2027年12月までの3年間、同施設の愛称は「muRata Learning Commons」（ムラタ・ラーニング・コモンズ）となった。

ネーミングライツ制度は、教育研究環境の充実や、企業等との相乗効果による産学連携の促進、地域・社会への貢献を目的として、2024年4月に本学で導入され、今回が学内で初めての契約となる。12月16日には、同社および本学関係者による除幕式と記者発表、施設見学も館内で開催された。

muRata Learning Commonsには、同社が製造するコンデンサの見本を使った砂時計が設置されているほか、テーブル天面には島根大卒業生のコメントや入社後の日常が分かる「出雲村田日常すごろく」などもあり、本学学生が出雲村田製作所の事業を身近に感じられるよう工夫が凝らされている。



■館内の教育用パソコン等の撤去

2025年2月、本館・医学図書館内の教育用パソコン（総合情報処理センター及び情報ネットワークセンター管理分）が全て撤去された。これは、2024年度に学生のPC必携化が完成年度を迎えたことに加え、コロナ禍を経てキャンパス内にある学生実習室等におけるパソコン及びプリンターシステムの利用状況が大幅に減少したことから、2025年2月末のリース契約満了に伴い撤去・廃止が決まったことによる。

本館においては、PCルーム内のパソコン41台が2024年9月以降順次撤去され、2025年2月末までにプリンターシステムも含め全て撤去・廃止となった。医学図書館においても、2025年2月にパソコン10台が撤去された（ただしプリンターシステムは残置）。なお、各館のOPAC検索用パソコン及び館内資料複写用コピー機については台数に変更はない。

本館のPCルームについては、机のレイアウトを見直し、画面共有用モニターを備えたグループ学習用のオープンスペースとしての提供を開始しており、活発に利用されている。



パソコン撤去後の本館PCルーム

TOPICS

■企画展示「第五福竜丸事件と核のない世界」を開催

本展示は、1954年のビキニ環礁での水爆実験により被ばくした第五福竜丸の事件を起点に、核の脅威と平和の尊さを再考することを目的に開催した。展示では、第五福竜丸展示館から借用した解説パネルや、久保山愛吉さんに寄せられた手紙、関連図書などを通じて、事件の背景や被害の実態、そして現在も続く核の問題を多角的に紹介した。来場者からは「教科書では知り得なかった被害の深刻さを知った」「マーシャル諸島の人々の苦しみに心を打たれた」といった声が寄せられ、特に久保山さんへの手紙の展示が印象に残ったという意見が多く見られた。

また、展示を通じて「事件は過去のものではなく、今も続く問題である」との認識が広がり、若い世代への継承の重要性が再確認された。会期中には約380名が来場し、平和教育の一環として大きな意義を持つ展示となった。

■開催概要

期間：2025年1月23日（木）～2月27日（木）
会場：本館1階展示室（地域コミュニティラボ）
主催：島根大学法文学部（基幹プロジェクト「平和と人権を考える教育」）
共催：島根大学附属図書館



■入退館ゲートの更新

2025年2月に本館の入退館ゲートを更新した。2010年3月に設置した旧ゲートは老朽化により故障が頻発していたためだが、今回の更新では入館時だけでなく退館時にも学生証・職員証等による認証機能を追加している。これにより在館者数や来館者の滞在時間など学生の利用動向が把握しやすくなった。利用状況の分析を行うことで、図書館サービスの改善にも繋げていきたい。



■企画展示「災害の時代」を開催

本展示では、平成期に発生した阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震を取り上げ、被災者提供の写真や五行歌人・佐藤沙久良湖氏の作品を通して、震災の記憶と向き合う機会を提供した。また、本学学生による震災関連の活動報告資料も展示し、災害と向き合う多様な視点を紹介した。

来場者のアンケートでは、「報道では伝わらない人々の思いが伝わった」「写真や詩から希望が感じられた」「災害時に自分にできることを考えさせられた」などの感想が寄せられた。本展示は、法文学部基幹プロジェクト「震災の記憶を担う」の一環として開催され、学内外の協力を得て実現した。会期中の来場者は約260名であった。

会場：本館1階展示室（地域コミュニティラボ）
主催：島根大学法文学部、島根大学附属図書館
共催：高嶋敏展（写真家・アートプランナー）
協力：門間光紀、佐藤沙久良湖、仲野香穂、三井麻実子



■開催概要

期間：2025年3月4日（火）～3月24日（月）

統計

■基本統計：2024年度データ

			本館 (松江キャンパス)	医学図書館 (出雲キャンパス)	合計
開館日数	平日		226	234	
	土・日・祝日		57	77	
	合 計		283	311	
利用対象者数 (2025年5月1日現在)	教職員		3,664		3,664
	学生		5,068	1,126	6,194
	学外者		513	52	565
	合 計				10,423
入館者数	学生		213,634	90,623	304,257
	教職員		9,671	7,371	17,042
	学外者		6,974	663	7,637
	合 計		230,279	98,657	328,936
貸出冊数	学生		39,249	4,903	44,152
	教職員		5,967	1,991	7,958
	学外者		4,104	121	4,225
	合 計		49,320	7,015	56,335
蔵書冊数 *1 (2025年3月31日現在)	和漢書		695,150	74,500	769,650
	洋 書		155,710	66,456	222,166
	合 計		850,860	140,956	991,816
図書受入冊数 *1	和漢書	購入	5,053	936	5,989
		製本	0	74	74
		寄贈	1,888	80	1,968
		再受入	194	8	202
		計	7,135	1,098	8,233
	洋書	購入	174	46	220
		製本	0	16	16
		寄贈	104	31	135
		再受入	6	206	212
		計	284	299	583
	合 計		7,419	1,397	8,816
雑誌所蔵種類数 *1	和雑誌		8,836	1,070	9,906
	洋雑誌		2,889	1,618	4,507
	合 計		11,725	2,688	14,413
雑誌受入種類数 *1	和雑誌	購入	323	103	426
		寄贈・その他	304	143	447
		計	627	246	873
	洋雑誌	購入	31	5	36
		寄贈・その他	9	4	13
		計	40	9	49
	合 計		667	255	922
資料費 (千円)	図書		18,273	5,600	23,873
	雑誌		2,602	3,051	5,653
	小計		20,875	8,651	29,526
	データベース		6,770		6,770
	電子ジャーナル経費 *2		92,511		92,511
	合 計				128,807
文献複写件数	受付		520	430	950
	依頼		1,110	452	1,562
現物貸借件数	受付		438	20	458
	依頼		430	24	454

*1 研究室の資料を含む。

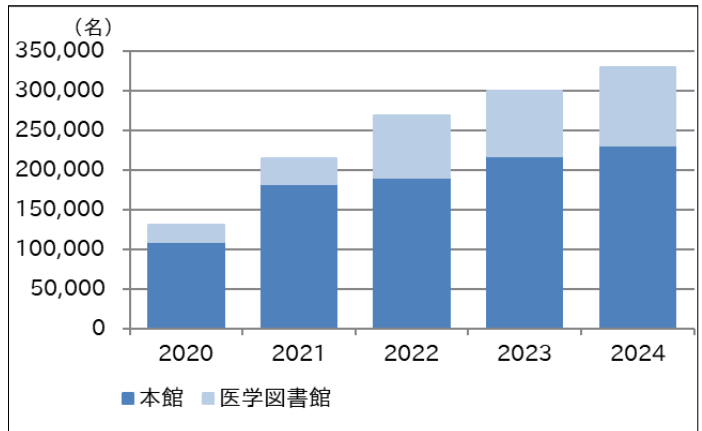
*2 学術情報基盤整備計画にかかる全学共通経費相当分。

統計

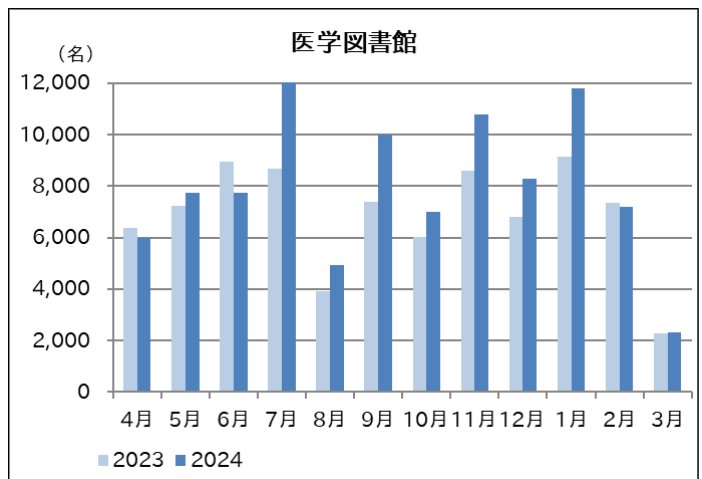
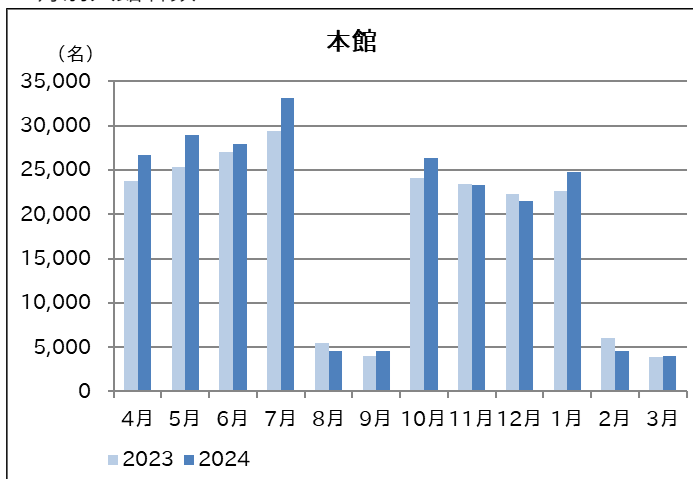
利用者

■入館者数

		2020	2021	2022	2023	2024
本館	学生	99,075	169,163	176,091	200,089	213,634
	教職員	8,103	9,513	9,994	10,045	9,671
	学外者	2,432	3,810	3,642	7,091	6,974
	小計	109,610	182,486	189,727	217,225	230,279
医学図書館	学生	16,263	26,091	71,925	76,331	90,623
	教職員	5,313	5,644	6,434	6,352	7,371
	学外者	79	66	113	156	663
	小計	21,655	31,801	78,472	82,839	98,657
合計		131,265	214,287	268,199	300,064	328,936



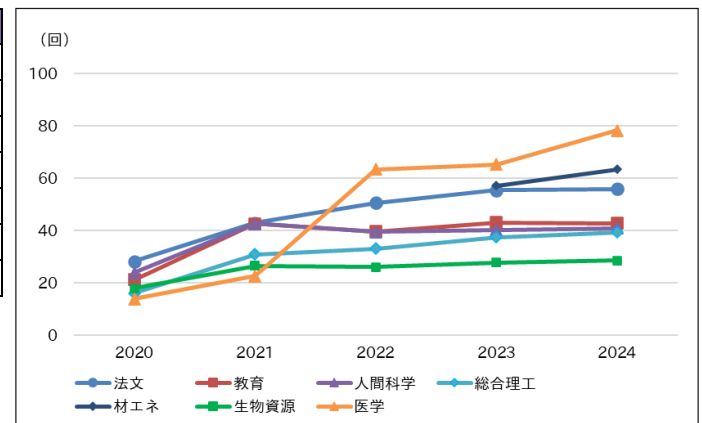
■月別入館者数



		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本館	2023	23,799	25,278	27,009	29,383	5,477	4,027	24,101	23,374	22,308	22,565	5,986	3,918
	2024	26,655	28,984	27,972	33,076	4,577	4,511	26,327	23,351	21,539	24,734	4,579	3,974
医学図書館	2023	6,384	7,239	8,970	8,692	3,908	7,390	6,022	8,618	6,825	9,152	7,349	2,290
	2024	5,980	7,745	7,758	14,857	4,952	10,005	6,993	10,798	8,280	11,793	7,185	2,311

■学生1人あたりの年間平均来館回数

学部	2020	2021	2022	2023	2024
法文	28.29	42.98	50.63	55.49	55.86
教育	21.28	42.66	39.73	43.19	42.75
人間科学	23.95	42.63	39.46	40.28	40.89
総合理工	16.15	30.88	33.14	37.48	39.31
材工ネ	-	-	-	57.21	63.49
生物資源	17.96	26.52	26.13	27.90	28.56
医学	13.87	22.70	63.36	65.30	78.28



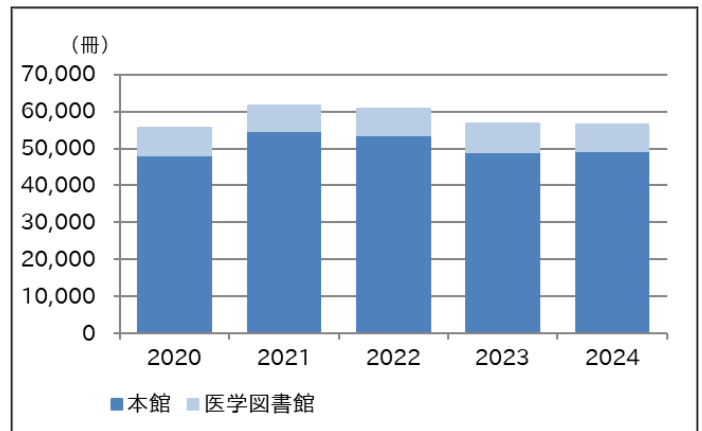
統計

貸出

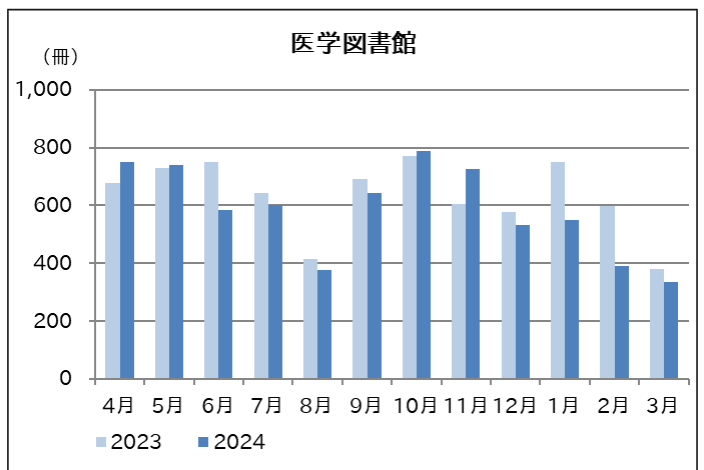
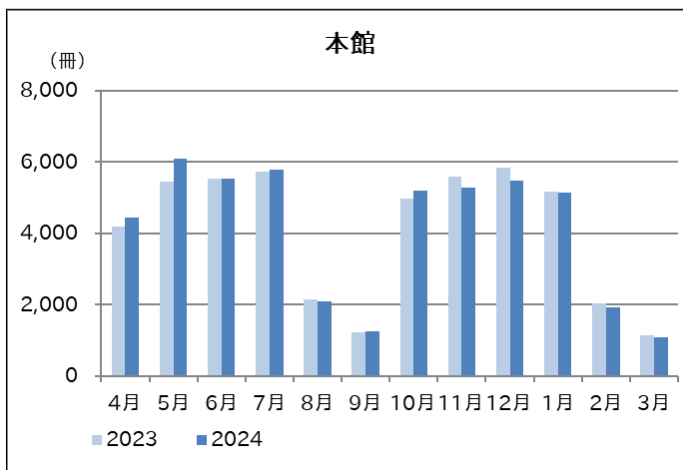
貸出冊数

		2020	2021	2022	2023	2024
本館	学生	39,697	46,085	45,216	40,215	39,249
	教職員	5,869	5,477	5,660	5,132	5,967
	学外者	2,572	3,043	2,716	3,767	4,104
	小計	48,138	54,605	53,592	49,114	49,320
医学図書館	学生	5,681	5,090	5,563	5,271	4,903
	教職員	1,805	1,998	1,535	2,090	1,991
	学外者	79	32	118	231	121
	小計	7,565	7,120	7,216	7,592	7,015
合計		55,703	61,725	60,808	56,706	56,335

※延長貸出も回数としてカウントしている。



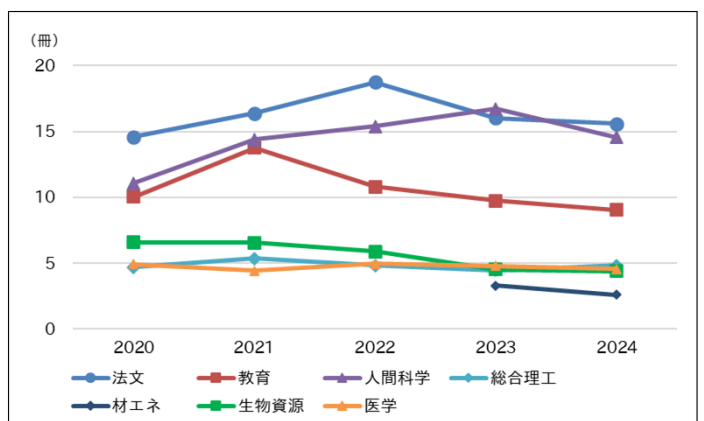
月別貸出冊数



		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本館	2023	4,202	5,457	5,535	5,730	2,159	1,231	4,989	5,592	5,850	5,175	2,041	1,153
	2024	4,432	6,092	5,527	5,791	2,086	1,272	5,197	5,282	5,478	5,150	1,919	1,094
医学図書館	2023	679	731	750	643	415	690	770	605	579	750	599	381
	2024	749	741	585	601	375	642	788	725	533	550	392	334

学生1人あたりの年間平均貸出冊数

学部	2020	2021	2022	2023	2024
法文	14.61	16.39	18.74	16.04	15.58
教育	10.05	13.76	10.82	9.73	9.06
人間科学	11.07	14.38	15.39	16.73	14.55
総合理工	4.69	5.36	4.81	4.47	4.81
材工ネ	-	-	-	3.30	2.59
生物資源	6.60	6.55	5.88	4.53	4.40
医学	4.93	4.41	4.95	4.80	4.55



統計

■図書

■蔵書冊数（分類別）

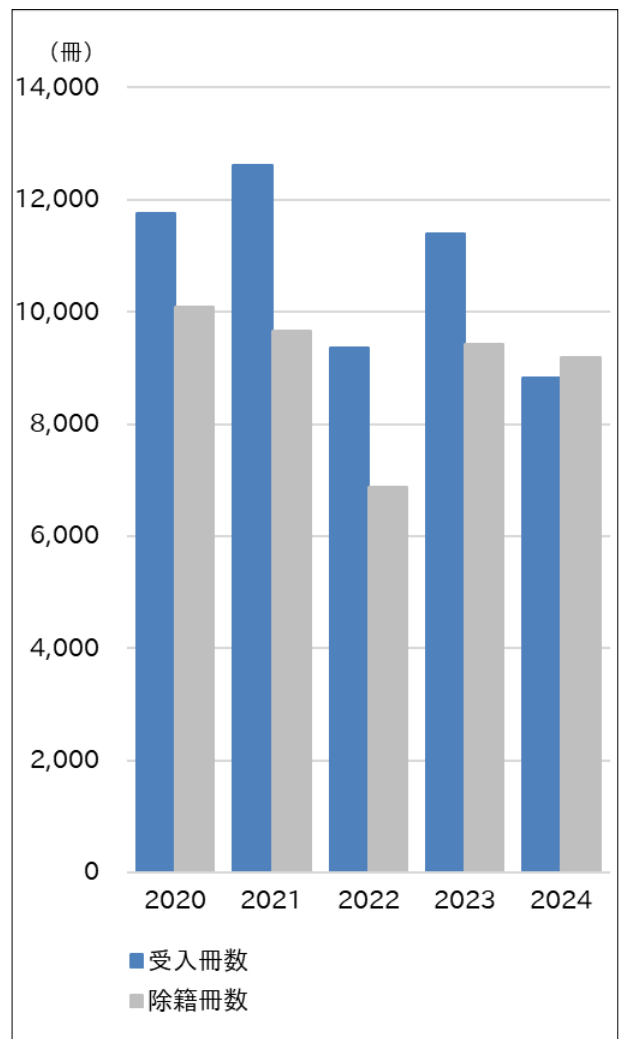
分類	本館			医学図書館			合計
	和漢書	洋書	小計	和漢書	洋書	小計	
000 総記	94,603	11,499	106,102	697	335	1,032	107,134
100 哲学	40,952	9,401	50,353	984	662	1,646	51,999
200 歴史	88,740	7,333	96,073	946	1,265	2,211	98,284
300 社会科学	169,633	27,160	196,793	1,780	528	2,308	199,101
400 自然科学	59,392	25,464	84,856	3,191	689	3,880	88,736
500 技術・工学	32,821	3,015	35,836	383	29	412	36,248
600 産業	36,197	3,350	39,547	177	23	200	39,747
700 芸術	30,529	4,746	35,275	543	129	672	35,947
800 語学	25,994	10,037	36,031	999	984	1,983	38,014
900 文学	72,680	18,286	90,966	1,582	1,479	3,061	94,027
医学専門	1	0	1	41,664	9,141	50,805	50,806
製本雑誌	43,608	35,419	79,027	21,554	51,192	72,746	151,773
合計	695,150	155,710	850,860	74,500	66,456	140,956	991,816

※ 2025年3月31日現在の数字。ただし、データ抽出は2025年5月27日のため冊数内訳に若干数の変更がある。

※ 視聴覚資料を含む。

■受入冊数

			2020	2021	2022	2023	2024
本館	和漢書	購入	5,632	6,323	4,845	4,822	5,053
		製本雑誌	204	201	181	173	0
		寄贈	3,214	2,949	2,172	3,883	1,888
		再受入	319	148	97	306	194
		計	9,369	9,621	7,295	9,184	7,135
	洋書	購入	309	359	296	145	174
		製本雑誌	0	0	0	0	0
		寄贈	314	535	184	255	104
		再受入	21	7	5	46	6
	計	644	901	485	446	284	
	小計		10,013	10,522	7,780	9,630	7,419
医学図書館	和漢書	購入	1,169	1,292	1,052	830	936
		製本雑誌	297	299	261	248	74
		寄贈	114	140	114	72	80
		再受入	34	1	0	10	8
		計	1,614	1,732	1,427	1,160	1,098
	洋書	購入	82	190	67	49	46
		製本雑誌	40	24	15	17	16
		寄贈	3	7	2	62	31
		再受入	0	145	78	478	206
		計	125	366	162	606	299
	小計		1,739	2,098	1,589	1,766	1,397
合計		11,752	12,620	9,369	11,396	8,816	
除籍冊数		10,097	9,669	6,879	9,428	9,183	
所蔵総数		984,774	987,725	990,215	992,183	991,816	



統計

■ 図書館資料費

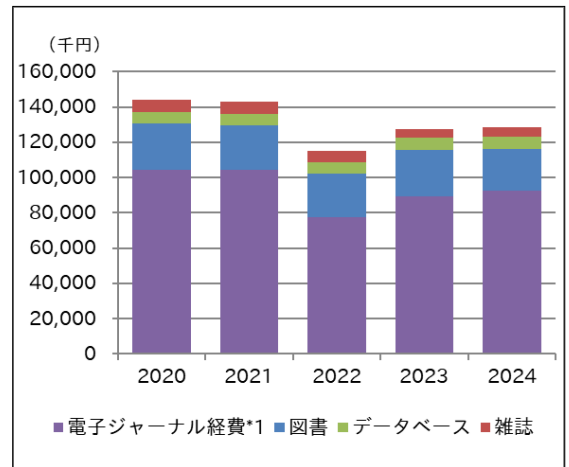
■ 図書館資料費の推移

(単位：千円)

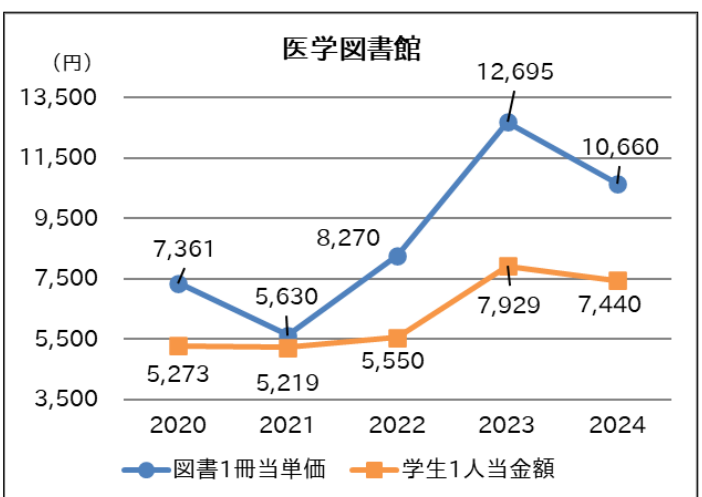
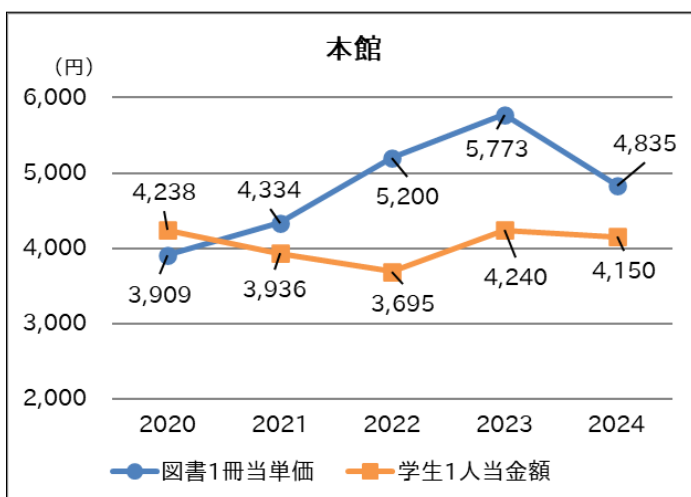
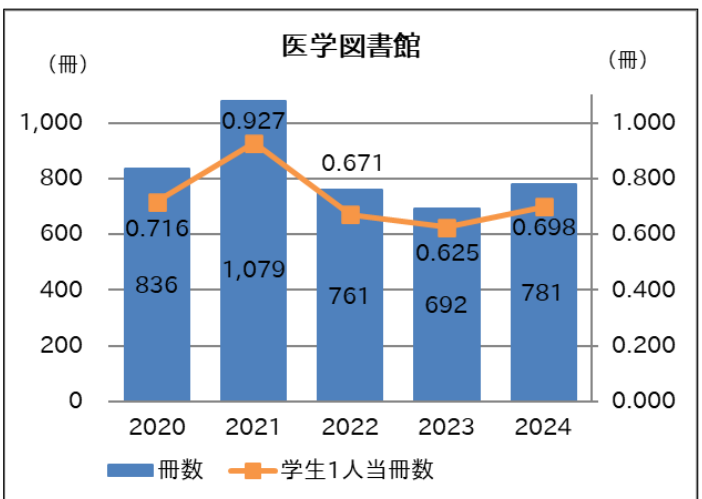
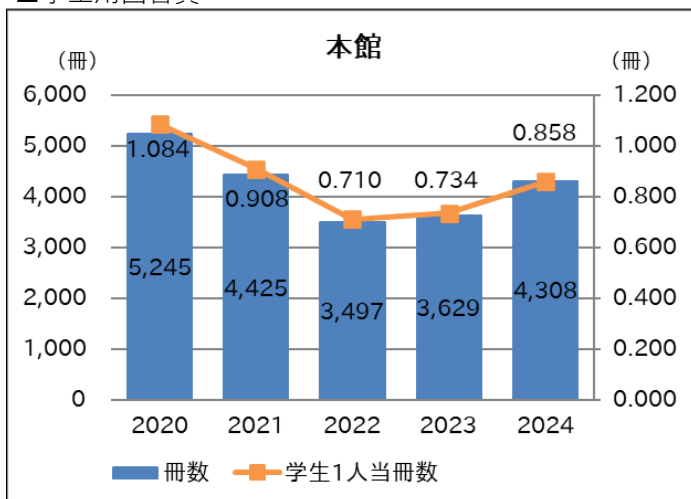
		2020	2021	2022	2023	2024
本館	図書	20,505	19,178	18,185	20,950	18,273
	雑誌	3,783	3,899	3,364	2,475	2,602
	小計	24,288	23,077	21,549	23,425	20,875
医学図書館	図書	6,154	6,075	6,294	5,570	5,600
	雑誌	2,831	2,875	2,991	2,516	3,051
	小計	8,985	8,950	9,285	8,086	8,651
データベース		6,509	6,549	6,551	6,630	6,770
電子ジャーナル経費*1		104,229	104,469	77,733	89,254	92,511
電子ジャーナル（戦略*2）		0	2,882	0	0	0
合計		144,011	145,927	115,118	127,395	128,807

*1 学術情報基盤整備計画にかかる経費相当分

*2 戦略的機能強化推進経費分



■ 学生用図書費



統計

■電子ジャーナル

■主要電子ジャーナルの利用状況（ダウンロード数）

	2020	2021	2022	2023	2024
ACS All Pubs Package	-	-	30,393	35,628	35,960
Elsevier社タイトル （うち前払トランザクション）	162,699	180,182	127,464	44,480	37,199
JSTOR *1	1,661	1,199	756	1,276	5,514
Oxford	-	-	14,982	17,883	14,859
Nature	7,835	6,081	6,417	7,044	5,939
PNAS	27,249	3,196	2,631	2,753	2,465
Science	3,177	3,395	2,891	2,710	2,953
SpringerLink	49,415	51,004	64,701	64,445	66,799
Wiley Online Library	50,352	64,218	67,962	59,527	56,443
メディカル・オンライン・ライブラリー *2	39,386	39,305	33,508	33,289	29,557

※ 当該年の1月～12月で集計している。

*1 2023年まではArts & Sciences Collection I, Health & General Sciences Collectionのみ

*2 電子ブックのダウンロード数も含む。

■電子ジャーナル契約タイトル数

	和洋	2024
（電子ジャーナル経費） （全学共通経費等）	ACS All Pubs Package	洋 68
	Cancer cell	洋 1
	JSTOR *1	洋 2,892
	The Lancet	洋 1
	Nature	洋 1
	Oxford Online	洋 346
	PNAS	洋 1
	Science	洋 1
	SpringerLink	洋 2,197
	Wiley Online Library	洋 1,367
	小計	6,875
（図書館含む） （部局経費）	Karger	洋 57
	Lippincott (LWW)	洋 54
	その他個別タイトル	洋 29
	メディカル・オンライン・ライブラリー	和 1,593
	その他個別タイトル	和 5
	小計	1,738
タイトル数 合計		8,613

*1 2024年からフルアクセス・モデル

■データベース

■学術データベースの利用状況

データベース名称	カテゴリ	2020	2021	2022	2023	2024	備考
CINAHL	看護学英語文献	466	518	805	579	484	1-12月／検索回数
CAS SciFinder	化学分野文献	-	-	-	8,245	14,646	4-3月／検索回数
Westlaw Japan	法学文献・判例	1,304	1,155	757	665	578	4-3月／ログイン回数
MathSciNet	数学文献	22,576	-	12,160	11,898	8,334	1-12月／検索回数
Web of Science	全分野英語文献	29,274	31,413	38,877	33,810	34,545	1-12月／検索回数
InCites Journal & Highly Cited Data	学術雑誌評価ツール	1,198	4,015	3,338	3,907	3,414	1-12月／検索回数
EBSCO Discovery Service	横断検索ツール	8313	8,214	7,623	6,620	6,315	1-12月／検索回数
朝日新聞クロスサーチ	新聞	3,634	2,582	3,095	2,212	1,916	4-3月／ログイン回数
医学中央雑誌Web	医学・看護学文献	82,090	84,354	60,919	53,149	52,141	4-3月／検索回数
化学書資料館	化学参考図書	3,334	2,335	1,533	2,833	1,467	4-3月／アクセス数
今日の診療Web	診療情報	2,747	1,909	1,504	841	899	1-12月／ログイン回数
最新看護索引Web	医学・看護学文献	28,090	30,649	649	1,116	1,163	4-3月／ログイン回数
ジャパンレッジ	各種参考図書等	71,647	64,578	53,561	57,093	54,364	4-3月／検索回数
日経テレコン21	新聞	9,026	14,537	5,893	7,322	6,911	4-3月／本文利用件数
ヨミダス歴史館	新聞	3,290	4,673	5,640	4,520	2,548	4-3月／検索回数
ルーラル電子図書館	農学参考図書	757	1,999	2,975	4,816	4,912	4-3月／記事閲覧回数
和歌・連歌ライブラリー	和歌・連歌	93	1,686	657	649	1,041	4-3月／ログイン回数

統計

■電子ブック

■電子ブックの利用状況（閲覧回数）

プラットフォーム	2020	2021	2022	2023	2024
EBSCOhost eBook Collection	18	387	292	389	303
Maruzen eBook Library	587	1,101	737	1,049	1,631
ProQuest Ebook Central	59	43	57	52	49
Springer eBooks	3,537	4,486	2,896	1,049	664
KinoDen	-	99	120	237	316

※ 当該年の1月～12月で集計している。

※ 統計が入手できたプラットフォーム・期間のみ掲載。

■電子ブック契約タイトル数

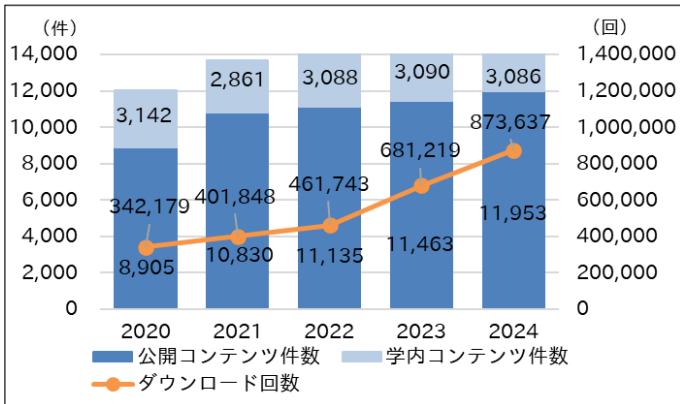
プラットフォーム	和	洋	合計
EBSCOhost eBook Collection	510	237	747
Elsevier ScienceDirect	0	1	1
KinoDen	610	0	610
Maruzen eBook Library	2,039	470	2,509
メディカルオンライン・イーブックス	217	0	217
ProQuest Ebook Central	0	240	240
Springer eBooks	0	16,092	16,092
Ovid ebook	0	4	4
タイトル数合計	3,376	17,044	20,420

※ 2025年3月31日時点の累積。買い切り分のみ（年間購読型は含まない）

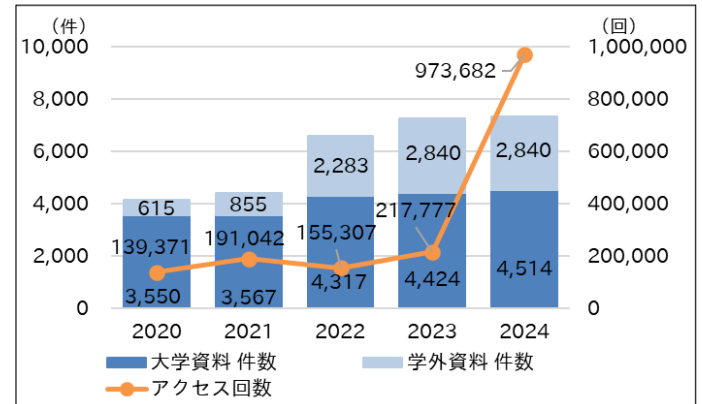
統計

Webサービス

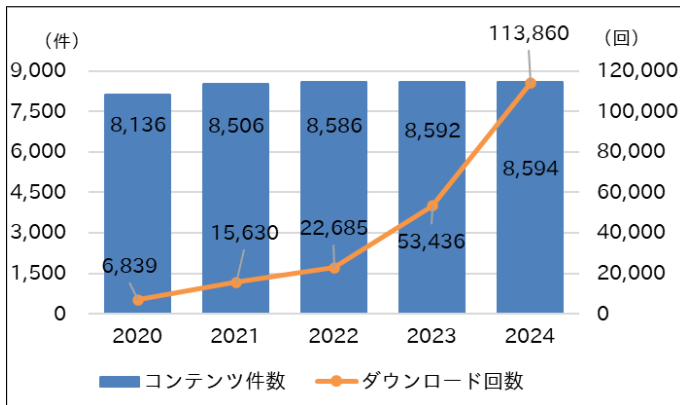
島根大学学術情報リポジトリ (SWAN)



デジタルアーカイブ



しまね地域資料リポジトリ (GO-GURa)



本館の『館内施設利用予約』 (Web予約システム)

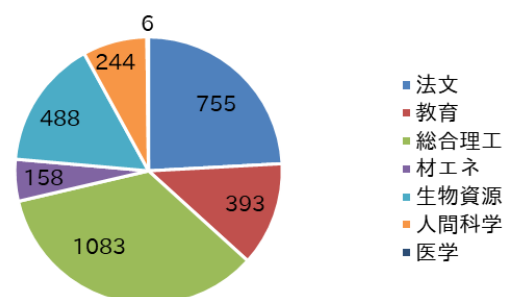
部屋名	総利用時間*1	総開室時間	稼働率[%]*2
グループ学習室1	1,432時間15分	3,108時間	46.08
グループ学習室2	1201時間0分	3,108時間	38.64
研究個室1	1,017時間30分	3,108時間	32.74
研究個室2	783時間15分	3,108時間	25.20
研究個室3	731時間30分	3,108時間	23.54
研究個室4	555時間30分	3,108時間	17.87
研究個室5	565時間15分	3,108時間	18.19
オンライン会議ブース1	170時間30分	1,076時間30分	15.84
オンライン会議ブース2	414時間15分	3,108時間	13.33
オンライン会議ブース3	493時間15分	3,108時間	15.87

*1 総利用時間とは、館内施設を実際に利用した時間を蓄積したもの

*2 稼働率とは、総利用時間を総開室時間で除算したもの

*3 オンライン会議ブース1は、雨漏りを機に2024年7月9日から使用を中止している。

グループ学習室等の利用回数

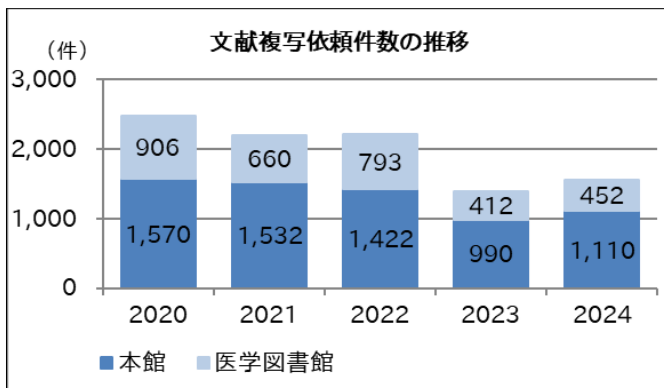
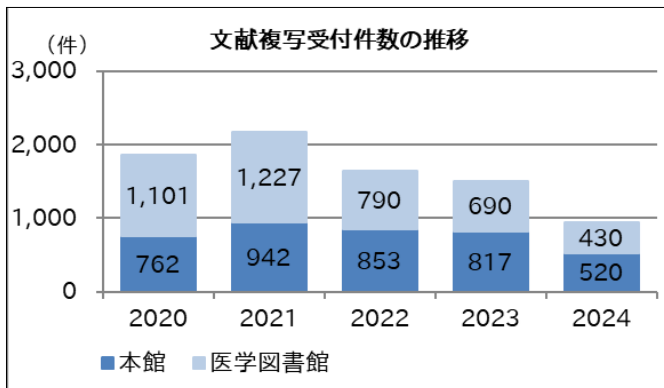


統計

相互協力

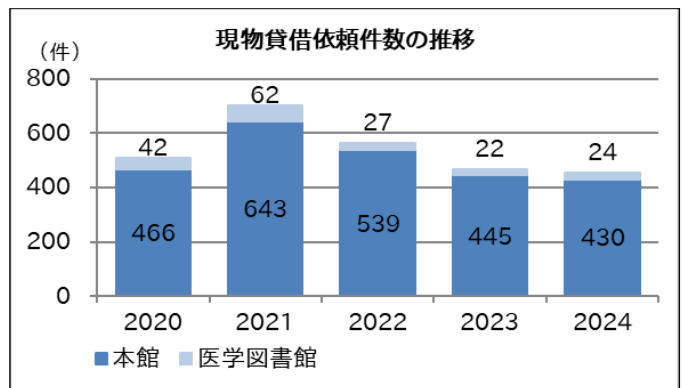
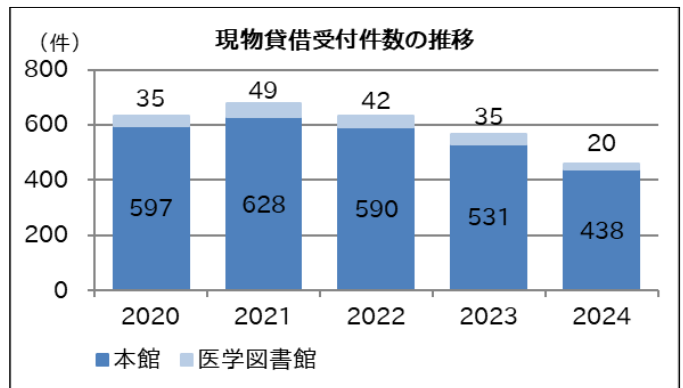
文献複写件数

		2020	2021	2022	2023	2024
本館	受付	762	942	853	817	520
	依頼	1,570	1,532	1,422	990	1,110
医学図書館	受付	1,101	1,227	790	690	430
	依頼	906	660	793	412	452



現物貸借件数

		2020	2021	2022	2023	2024
本館	受付	597	628	590	531	438
	依頼	466	643	539	445	430
医学図書館	受付	35	49	42	35	20
	依頼	42	62	27	22	24



県内図書館間の相互貸借

		貸出冊数					借受冊数				
		2020	2021	2022	2023	2024	2020	2021	2022	2023	2024
本館	島根県立大学 (松江)	42	38	49	38	41	6	14	1	9	7
	松江高専	0	3	5	6	2	0	7	1	1	0
	島根県立図書館	38	49	57	38	41	25	58	47	38	36
	県立以外の公共図書館	230	250	201	193	154	27	63	65	47	56
医学図書館	島根県立図書館	4	18	7	8	2	22	15	12	2	7
	県立以外の公共図書館	27	19	19	12	7	14	38	9	14	5
合計		341	377	338	295	247	94	195	135	111	111

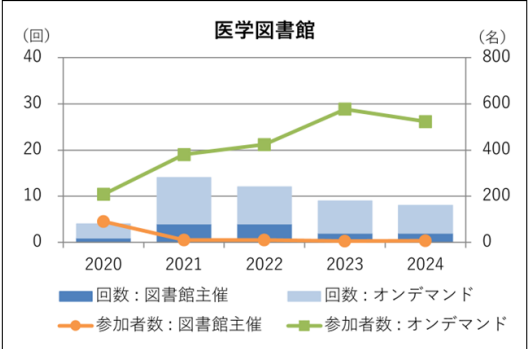
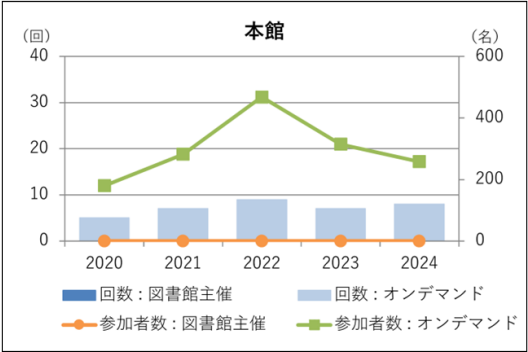
統計

講習会

学術情報リテラシー講習会

			2020	2021	2022	2023	2024
本館	図書館主催	回数	0	0	0	0	0
		参加者数	0	0	0	0	0
	オンデマンド*1	回数	5	7	9	7	8
		参加者数	180	282	468	315	258
医学 図書館	図書館主催	回数	1	4	4	2	2
		参加者数	90	10	10	5	7
	オンデマンド*1	回数	3	10	8	7	6
		参加者数	208	380	424	577	523
参加総数			478	672	902	897	788

*1 オンデマンドとは、教員と連携して授業内で実施したものや個々の利用者の求めに応じて開催した講習会を指す。



その他

いこうる（男女共同参画図書コーナー）の貸出回数（本館）

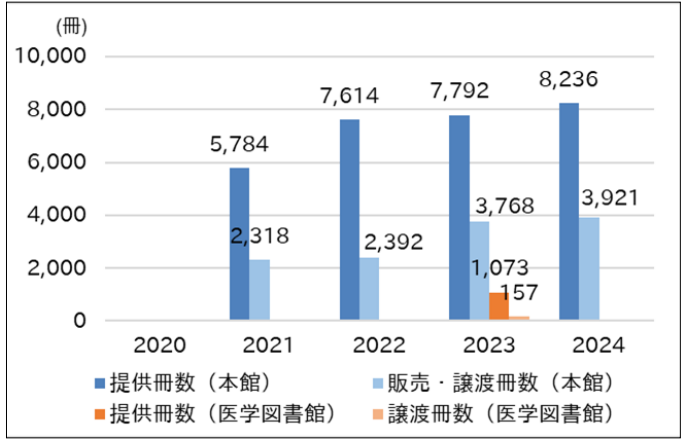
テーマ	展示期間	展示冊数	貸出回数
いのち、少子化、貧困、人間関係	2024年4月～2024年6月	100	36
フェミニズム、子育て支援、起業、ライフスタイル、伝記	2024年7月～2024年9月	100	13
性教育、男性問題、ライフコース、環境問題、人権	2024年10月～2024年12月	100	35
ジェンダー史、妊娠・出産・不妊、性暴力、スポーツ、エッセイ	2025年1月～2025年3月	100	13
合計		400	97

※ 国立女性教育会館からの団体貸出

松江市立図書館移動図書館の利用状況（本館）

巡回日	新規登録者数	貸出者数	貸出冊数
2024年5月29日（水）	9	20	72
7月31日（水）	9	16	63
10月30日（木）	7	20	56
11月29日（金）	2	13	43
合計	27	69	234

廃棄予定図書の無償提供会



※ 2019年以前は有償販売、2021年以降は無償提供とした。

図書館見学・ツアー

実施日	参加者	人数
2024年7月11日	島根県立大田高校	26
7月29日	島根大学グローバルサイエンスキャンパス受講生	12
8月9日	教育学部（島根県の高校生）	70
8月27日	NPOこだま	12
9月12日	教育学部（益田高校、隠岐高校）	26
9月26日	米子北斗高校	21
9月30日	神門コミュニティセンター「わくわく探訪塾」	26
10月15日	島根県立江津高等学校 1年1組	27
10月17日	島根県立江津高等学校 1年2組	22
10月22日	島根県立中央高等学校 2年	37
10月3日	鳥取県立倉吉東高等学校	6
12月26日	松江第二中学校区 教職員	34

統計

■ブックコンパス（おすすめ図書の紹介企画）

■ブックコンパス（本館）

展示タイトル	展示期間	展示冊数	貸出回数
新入生の君へ	2024年4月1日～2024年5月17日	26	73
本を通じて世界を知る	2024年5月22日～2024年6月26日	25	38
水のはなし	2024年10月10日～2024年11月中旬	25	20
職を通じて世界を知る	2024年11月12日～2024年12月中旬	25	54
今年亡くなった著名人・没後〇周年の著名人	2024年12月23日～2024年12月27日	25	14
今こそ防災	2025年1月23日～2025年3月6日	20	29
写真が語るもの	2025年3月7日～2025年3月末	20	9
新入生の君へ	2025年3月31日～2025年4月30日	22	24
合計		188	261

※ 図書のテーマ展示

■ブックコンパス（医学図書館）

展示タイトル	展示期間	展示冊数	貸出回数
島根によこそ	2024年4月9日～2024年5月8日	12	11
SNSでつながるひろめる	2024年5月9日～2024年6月9日	12	10
明日の天気は？	2024年6月10日～2024年7月9日	15	4
フランス	2024年7月10日～2024年8月6日	12	12
世界をつなぐ	2024年8月9日～2024年10月9日	11	8
食	2024年10月10日～2024年11月7日	12	9
読	2024年11月8日～2024年12月9日	14	22
学者	2024年12月10日～2025年1月14日	14	12
なぜ？どうして？【好奇心】編	2025年1月15日～2025年2月9日	14	12
なぜ？どうして？【心】編	2025年2月18日～2025年3月24日	14	26
合計		130	126

※ 図書のテーマ展示

■電子書籍deブックコンパス（医学図書館）

展示タイトル	展示期間	紹介冊数
大学生になったら	2024年4月3日～2024年4月30日	10
NDC:830 TOEIC	2024年5月1日～2024年6月2日	10
6月病にも気を付けて！	2024年6月3日～2024年6月30日	10
フランス語を学び、文化に触れよう！	2024年7月1日～2024年7月31日	8
戦争と平和	2024年8月1日～2024年9月1日	10
食と健康	2024年9月2日～2024年9月30日	8
スポーツの秋～日常・科学・歴史～	2024年10月1日～2024年10月31日	8
いい医療の日	2024年11月1日～2024年12月1日	10
賢者は歴史に学ぶ	2024年12月2日～2025年1月5日	9
江戸を読む！	2025年1月6日～2025年2月2日	10
世界の文化・民俗学	2025年2月3日～2025年3月2日	9
知るとおもしろい様々な心理学	2025年3月3日～2025年3月31日	8
合計		110

※ おすすめの電子ブックをポスター（QRコード付き）で紹介

図書館日誌

年月日	カテゴリ	館区分	事項
2024年4月1日	その他	本館	施設利用にかかる制限の解除
5月7日	会議等	共通	令和6年度 第1回 附属図書館運営会議(～14日、メール審議)
5月27日	展示	本館	企画展示「命の絆展～被害者も加害者も出さないまちづくり～」を開催(～6月20日)
5月29日	イベント	本館	松江市立図書館の移動図書館車が来学
6月11日	コンシェルジュ	本館	「図書館謎解きラリー」を開催(～7月31日)
6月12日	会議等	共通	令和6年度 第2回 附属図書館運営会議
6月12日	会議等	本館	令和6年度 第1回 附属図書館本館運営会議
7月1日	会議等	医学図書館	令和6年度 第1回 医学図書館運営会議
7月3日	展示	本館	島根大学写真部による「文月展」開催(～7月17日)
7月9日	イベント	本館	廃棄予定図書の無償提供会を開催(～7月12日)
7月16日	その他	医学図書館	図書館購読雑誌選定にかかるアンケート調査を実施(～8月19日)
7月25日	コンシェルジュ	本館	図書展示「島根大学再発見」を実施(～8月31日)
7月31日	イベント	本館	松江市立図書館の移動図書館車が来学
8月1日	その他	本館	フレックスターム及び夏季休業期間中の節電対策(～9月25日)
8月6日	その他	医学図書館	コンセント口の増設工事(～8月7日)
8月20日	その他	医学図書館	医学図書館蔵書点検(～8月23日)
8月21日	会議等	共通	令和6年度 第3回 附属図書館運営会議(～9月3日、メール審議)
9月2日	その他	本館	本館蔵書点検(～9月6日)
9月25日	会議等	共通	令和6年度 第4回 附属図書館運営会議(～10月2日、メール審議)
9月27日	その他	共通	附属図書館年報2023を発行
10月1日	展示	本館	企画展示「松江市における衛生思想の歴史と今」を開催(～11月3日)
10月1日	展示	本館	しまねまごころバンク主催「移植医療に関する資料展示～つながるいのち～」を開催(～10月31日)
10月17日	会議等	医学図書館	令和6年度 第2回 医学図書館運営会議(～25日、メール審議)
10月21日	その他	本館	令和7年度以降の継続購入図書選定にかかるアンケート調査を実施(～11月18日)
10月30日	イベント	本館	松江市立図書館の移動図書館車が来学
11月12日	展示	本館	企画展示「しまねで世界と繋がる！」(島大グローバル月間イベント)を開催(～12月2日)
11月18日	会議等	医学図書館	令和6年度 第3回 医学図書館運営会議

図書館日誌

年月日	カテゴリ	館区分	事項
12月16日	会議等	共通	令和6年度 第5回 附属図書館運営会議
12月16日	会議等	本館	令和6年度 第2回 附属図書館本館運営会議
12月20日	その他	本館	1階ラーニング commons の愛称決定！《muRata Learning Commons》
12月26日	その他	本館	グループ学習室に画面共有用のモニターを設置
2025年1月6日	コンシェルジュ	本館	図書館福袋を展示（～1月22日）
1月21日	イベント	本館	廃棄予定図書の無償提供会を開催（～1月24日）
1月23日	展示	本館	企画展示「第五福竜丸事件と核のない世界」を開催（～2月27日）
2月17日	その他	共通	新図書館システムでの業務開始
2月28日	会議等	医学図書館	令和6年度 第4回 医学図書館運営会議（～3月5日、メール審議）
3月4日	展示	本館	企画展示「災害の時代」を開催（～3月24日）
3月12日	会議等	本館	令和6年度 第3回 附属図書館本館運営会議（～13日、メール審議）

その他の記録

■報道

事項	掲載紙・放送局等（年/月/日）
【イベント】第43回自然史標本情報発信に関する研究会「自然史系博物館資料のデジタルアーカイブ化と公開」（6/22・オンライン）（島根大学附属図書館 青柳和仁）	カレントアウェアネス-R（2024/6/12）
【イベント】これからの学術情報システム構築検討委員会、ユーザーグループイベント「デジタルアーカイブ×メタデータ勉強会 #2」（7/25・オンライン）（島根大学附属図書館 青柳和仁）	カレントアウェアネス-R（2024/7/22）
企画展示「松江市における衛生思想の歴史と今」	山陰中央新報（2024/10/2）（Web）
企画展示「しまねで世界と繋がる！～しまね国際センター＆JICAパネル展～」	山陰ケーブルビジョン（マーブルテレビ） まるまる松江（2024/11/12）
muRata Learning Commons（ネーミングライツ事業）	NHK NEWS WEB（2024/12/16） 日本経済新聞（Web）（2024/12/16） 山陰中央新報（2024/12/17）21面（Webにも掲載） 朝日新聞（Web）（2024/12/18） 毎日新聞（Web）（2025/1/16） dmenuニュース（朝日新聞版）
企画展示「第五福竜丸事件と核のない世界」	山陰中央新報（2025/1/26）24面（Webにも掲載） ※ 1/25開催のトークイベント関連記事 山陰中央新報（2025/1/28）23面
企画展示「災害の時代」	読売新聞（2025/3/11）31面（Webにも掲載） 山陰中央テレビ（2025/3/11）夕方のニュース（Webにも掲載） 山陰中央新報（2025/3/13）18面（Webにも掲載）

その他の記録

■講師等

年月日	氏名	発表タイトル等	研修会名等（会場）
2024年6月22日	青柳 和仁	デジタルアーカイブの標準規格 IIIFの紹介	第43回自然史標本情報発信に関する研究会「自然史系博物館資料のデジタルアーカイブ化と公開」 （主催：国立科学博物館） ※オンライン開催
2024年7月25日	青柳 和仁	IIIFとメタデータの話提供	デジタルアーカイブ×メタデータ勉強会#2 （主催：国立情報学研究所 これからの学術情報システム構築検討委員会） ※オンライン開催
2024年11月20日	青柳 和仁	3.次期ILLシステムに求める機能の整理「②新しい料金決済制度について」	図書館総合展2024（企画）NIIフォーラム（横浜市） テーマ：「図書館システム・ネットワーク ユーザーグループイベント～デジタルアーカイブ、NCR2018対応、図書館システムガイドライン、ILL～」 （企画主催：国立情報学研究所） ※オンライン開催
2024年11月22日	青柳 和仁	事例報告「IIIFと二次利用ライセンスと島根大学附属図書館デジタルアーカイブ」	令和6年度 国立大学図書館協会東海北陸地区協会助成事業（富山市）「貴重書・特別コレクション管理・利活用の諸課題」研修会 ※オンライン参加
2025年1月21日	矢田 貴史	「報告書電子化・遺跡抄録登録の実務に関わる説明」等	報告書データベース作成に関する説明会（鹿児島市） （主催：奈良文化財研究所） ※オンライン参加
2025年2月21日	矢田 貴史	「報告書電子化・遺跡抄録登録の実務に関わる説明」等	報告書データベース作成に関する説明会（福井市） （主催：奈良文化財研究所）
2025年3月14日	青柳 和仁	オープンアクセス加速化事業で今やろうとしていること	令和6年度山口県大学図書館協議会研修会（山口市） 「オープンアクセス加速化と機関リポジトリの今」 （主催：山口県大学図書館協議会）

その他の記録

■展示貸出の実績

会期	展示名	資料名	資料番号
2024年10月4日（金） ～11月24日（日）	松江市立松江歴史館 特別展「月照寺と松平家の宝」	松江の文化財 [ほか]	2261936
2024年10月5日（土） ～2025年1月13日（月）	松江市立鹿島歴史民俗資料館 2024年度特別展「海と湖に生きた人々」	出雲石見魚漁圖解 1巻	2097211
		出雲石見魚漁圖解 2巻	2097212
		出雲石見魚漁圖解 3巻	2097213
		出雲石見魚漁圖解 4巻	2097214
		因幡伯耆魚漁圖解 上	2097215
		因幡伯耆魚漁圖解 下	2097216
2024年10月11日（金） ～12月8日（日）	島根県立古代出雲歴史博物館 企画展「山陰の戦乱－月山富田城の時代－」	小笠原文書 4巻	0089948
		小笠原文書 17巻	0089961
		堀尾期松江城下町絵図	1374132
		堀尾期松江城下町絵図（レプリカ）	-
		堀尾期松江城下町絵図（トレース図）	-

本館 Main Library in Matsue

〒690-8504 島根県松江市西川津町1060

Tel (0852)32-6083 Fax (0852)32-6089

竣工：1978(昭和53)年1月17日

増築竣工：1984(昭和59)年12月25日

耐震・機能改修：2013(平成25)年2月28日

構造：鉄筋コンクリート造3階建、書庫8層

面積：6,826m²

席数：542席



医学図書館 Medical Library in Izumo

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町89-1

Tel (0853)20-2090 Fax (0853)20-2095

竣工：1979(昭和54)年3月19日

耐震改修：2007(平成19)年12月20日

構造：鉄筋コンクリート造3階建

面積：1,819m²

席数：176席



SHIMANE UNIVERSITY LIBRARY

Annual Report 2024

島根大学附属図書館年報2024

2025（令和7）年7月発行

発行：島根大学附属図書館